

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策I-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	----------------------------

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 農地整備課 国営事業対策室長 足立和彦 電話番号 0852-22-6780

事務事業の名称	国営事業完了地区等対策推進事業	
目的	(1) 対象	中海干拓地及び国営開発地の入植農家・入植希望者等
	(2) 意図	中海干拓地及び国営開発地の農地の利活用を促進し、農家の経営安定を図る。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>中海干拓地(揖屋工区、安来工区)への入植を促進し収益力向上による経営安定を図るため、売渡及び貸付を行うしまね農業振興公社に対して、必要な経費を支援する。</li> <li>中海干拓地及び国営開発地の農地の利活用を促進し地域農業の活性化を図るため、新規品目の導入等の検討を行う。</li> </ul>	

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	公社保有地(干拓農地)の売渡・貸付済み面積	目標値	316.9	319.6	322.3	325.0	ha
	式・定義	売渡・貸付済み累計面積÷平成31年度目標面積(325.0ha)	実績値	314.2				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名	国営開発地における農地活用面積	目標値	756.2	764.1	772.1	780.0	ha
	式・定義	国営開発地活用面積÷平成31年度目標面積(780.0ha)	実績値	748.2				
			達成率	-	-	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	210,510	1,745,605
うち一般財源(千円)	115,287	116,974

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

<p>【中海干拓地】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度までは、企業等の新規参入により売渡・貸付面積は目標を上回っていたが、昨年度は、個人の入植者はあったものの法人の撤退により、貸付面積が全体では減ったため目標値を3.7ha下回った。</li> <li>昨年度に揖屋干拓地暫定ため池跡地7.5haを松江市と売買契約を締結したことにより、農地以外の土地については売渡しがすべて完了した。</li> </ul> <p>【国営開発地】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度は担い手への農地集積が図られ農地活用面積目標を15ha上回った。</li> </ul>
--

## 6. 成果があったこと(改善されたこと)

<p>【中海干拓地】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>干拓農地の売渡及び貸付制度の周知と活用に努めた結果、平成28年度は農地貸付による入植予定者(3戸/4.3ha)が既に確保出来ている。</li> </ul> <p>【国営開発地】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各種補助事業等の活用により、平成27年度は農地再生を図られ、農地の利活用が進んだ。</li> </ul>
--

## 7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

<p>①困っている「状況」</p> <p>【中海干拓地】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>干拓農地の貸付は進んでいるが売渡については、近年進んでいない。</li> </ul> <p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作付休閑地が増加している。</li> </ul>
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <p>【中海干拓地】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近年は企業等の入植が多いが、企業等は農地取得よりも貸付を希望している。</li> </ul> <p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>耕作者の高齢化により大規模な経営が困難になっている。</li> </ul>
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <p>【中海干拓地】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企業等が希望する貸付を進める中で、売渡を促していく必要がある。</li> </ul> <p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>営農意欲のなくなった農家の農地について、規模拡大を希望する経営体へ集積するとともに、経営の安定化を図る必要がある。</li> </ul>

## 8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

<p>【中海干拓地】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相談会等で農地取得や貸付の支援事業を更にPRし、干拓農地の売渡や貸付を促進する。</li> </ul> <p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市町・農業会議等との情報交換や農家の意向調査を行うとともに、農地中間管理機能を有効活用して担い手への農地集積を促進する。</li> <li>実証は設置し、収益性の高い新規品目の定着を検討して、経営体への導入を図る。</li> </ul>
---

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

## 9. 追加評価(任意記載)

--